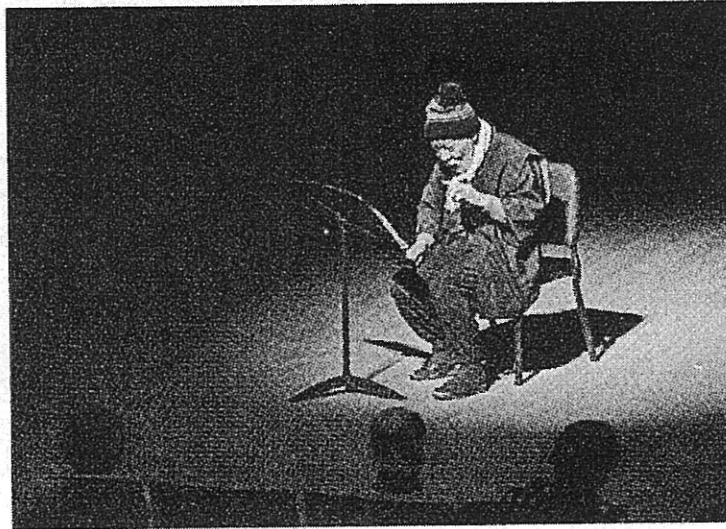


子守唄の心 伝えたい

京都

各地に残る子守唄を通して親子の絆や命の大切さを伝えようと、童話の朗読とミニコンサート「日本のこころ 子守唄ってなぁに」が1月31



日、龍谷大学「人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター」協力のもと、京都市立京都堀川音楽高校で開かれた。主催はNPO法人日本子守唄協会。

俳優の常田富士男さんが詩人・作家の青木新門さん作の童話『つららの坊や』を情感豊かに朗読（写真）、ミニコンサートではギタリストの原荘介さんが子守唄を弾き語り、集まった120人は静かに聞き入っていた。また、青木さんと龍谷大学教授の鍋島直樹さん、同協会理事長の西館好子さんが「伝えるもの」について語り合った。

本願寺新報 二〇二五・二